

人間系に係わる不適合のグレード別内訳(平成16年4月～平成17年3月発生分)

グレード	件数	定 義	グレード別の事例	
			件名	概 要
As	0	・法令、安全協定に基づく報告事象 ・プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象 など	/	
A	5	・保安規定に関わる不適合事象 ・安全協定に基づく取決め事項 など	Aグレードの5件については別紙参照	
B	36	・国の検査等で指摘を受けた不適合事象 ・運転監視の強化が必要な事象 など	4号機屋外軽油タンクからの油漏れについて	軽油タンク点検のため、軽油タンク内の油抜き取り作業中、受け先タンクローリーのタンクが満杯となったため、油抜き取り用ホースを取り外す際軽油タンクとホースの接続部より防油堤内に油が流れ出た。
			タービン本体準備作業時、定検用資材落下損傷について	タービン本体準備作業時、定検用資機材を天井クレーンにて吊り上げ移動時に資材を落下させた。
			主復水器ラバーエキスパンション用ホルダー落下による冷却管損傷について	主復水器ラバーエキスパンション修理工事において旧品のホルダーを運搬中、誤ってホルダーを滑らせステップと側板の隙間より下部に落下させ冷却管を損傷させた。
C	126	・品質保証の要求事項に対する軽微な不適合事象など	HPCW系放射線モニタ記録計紙送り不良見落としについて	HPCW系放射線モニタ記録計の指示は動作しているものの、紙送りが停止していた。結果として、4時間10分の記録計紙送りを見落としした。
			火気養生確認時における左足切創について	火気養生の確認時に、ブリキ板を横に動かした際に、ブリキ板が左足に接触して切創
D	188	・通常のメンテナンス範囲内の事象など	タービン系多重伝送盤 端子ネジ破損について	タービン系多重伝送現場盤にて、「主タービン廻り端子台修理」の為のリフトアイソレ時、ネジを緩める際に、端子のネジ先端が破損してしまった。
			焼却炉建屋投入口開口部手摺と梯子の不整合	焼却炉建屋内4階投入口開口に建築側で設置した手摺と、機械設備側で設置した梯子が合致しないことが判明。
対象外	6	・消耗品の交換等の事象など	作業終了後シャワー洗身した際、シャワー室ロッカー内にAPD(個人警報線量計)を置忘れ、そのまま退室モニターにかかった。退室モニター内でAPD未装着に気づき、退室モニター通過後、保安監視員に連絡し、APDを回収・搬出してもらい、退域処理を実施した。	
合計	361			

人間系に係わる不適合のAグレード5件全内訳

グレード	NO	発生日	件名	概要
A	1	2004/4/7	1号機原子炉冷却材の水質およびよう素濃度測定結果週報の当直長への通知忘れについて	平成16年3月29日に採取した1号機原子炉冷却材のよう素濃度測定結果週報を、平成16年4月5日に当直長へ通知すべきところを忘れた。
	2	2004/8/24	6号機の主蒸気隔離弁機能検査準備段階での保安規定運転上の制限の逸脱について	主蒸気隔離弁機能に関わる検査の準備の一環として、原子炉スクラム機能を一時的に解除する措置を行っていたところ、この機能が解除されていた約2時間、3本の制御棒が動作可能な状態であったことが判明。
	3	2004/10/18	5号機燃料プ - ルへの作業員の落下について	5号機原子炉建屋4階の燃料プ - ルにおいて、燃料貯蔵ラックの増容量工事を行っていた協力企業作業員が誤って燃料プ - ル内に落下した。
	4	2005/1/12	補助ボイラー1A定期事業者検査開始年月日遅延について	平成15年12月22日に経済産業省より、平成17年1月11日までにボイラーを停止して定期事業者検査を実施する旨の承認を得ていたが、定期事業者検査を開始しなければならない1月11日を経過していることが判明した。
	5	2005/3/10	5号機廃材ドラム缶落下について	5号機T / B 2Fより1FL大物搬入口ヘジブクレーンにて廃材ドラム缶吊り降ろし作業中、廃材ドラム缶を落下させた。